

No	状況	事業名	担当課	事業内容	取組みで重視する視点				事業の実施計画・実績								取組の柱						温暖化対策の柱						事業評価(令和6年度)				
					子ども	協働	情報	R6年度 までの目標	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画	R8実績	①緑・生物	②水	③街並み	④住環境	⑤温暖化	⑥ごみ減量	⑦人・育	⑧取組応援	①ラフスタイル	②省エネ		③再エネ	④脱炭素交通	⑤ごみ対策	⑥対応策
1	継続	都市計画による規制・誘導	都市整備課(旧都市計画課)	自然環境と都市機能が調和した住みやすいまちづくりのため、区域区分及び用途地域等による規制と誘導を行います。			ホームページ、パンフレット、窓口での案内	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	1															区域区分及び用途地域等を継続的に運用し、建築物等の規制と誘導を行い、適正な都市計画の運用を行うことができた。	
2	継続	環境保全等奨励金の交付	商工観光課(旧商工振興課)	「鳥栖市事業所等の立地奨励に関する条例」に基づき、流通業務団地へ進出する流通関連施設設置者が緑地等を整備した場合に奨励金を交付します。		対象企業に補助		該当する施設が設置された場合に実施する	該当があれば実施	該当なし	該当があれば実施	該当なし	該当があれば実施	該当なし	該当があれば実施	該当があれば実施	2						2							○	○	該当なし	
3	継続	花とみどりの祭りイベント	都市整備課(旧都市計画課)	苗木・肥料等の配布、フラワーアレンジメント、ガーデニング教室等を行います。	自然保護意識、緑化意識を育む	鳥栖市花とみどりの推進協議会と共催	市報、ホームページ、広報紙	市民、各種団体、事業所等と協力して開催する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	2												○	○	令和6年度については、「花とみどりの祭り」を開催し、苗木等の配布や植樹体験、各種園芸教室を実施し、緑化意識の高揚を図ることができた。	
4	継続	名木樹等の指定	都市整備課(旧都市計画課)	名木樹等を指定し、保存に努めます。			ホームページ、窓口に掲示	指定及び必要な指導と助言などをする	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	2													○	○	樹木匠などと連携して保全に取り組んだ。	
5	継続	緑化推進状況の広報	都市整備課(旧都市計画課)	緑化事業の内容や、地元やボランティア団体の緑化推進の活動状況を周知します。			市報、ホームページ、広報紙	市報等に掲載する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	2													○	○	鳥栖市花とみどりの推進協議会等と連携し、緑化推進状況の広報を行うことができた。	
6	継続	人生記念樹の贈呈	都市整備課(旧都市計画課)	市民の出生を祝福して記念の苗木(もちの木、さざんか、つつじ、もくせいの)を贈り、緑化啓発と郷土緑化推進を図ります。			対象者に案内	事業実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	2													○	○	年2回、申し込みのあった出生者の家庭に人生記念樹の贈呈を行った。 令和6年3月より、苗木の持つCO ₂ 吸収効果をPRするチラシを添えて配布。	
7	継続	自然観光施設の利用促進	商工観光課(旧商工振興課)	自然観光施設(御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋)を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。			市報、ホームページ	観光施設来場者数を年間48,000人以上にする	48,000人	14,725人	48,000人	35,650人	48,000人	27,530人	48,000人	48,000人	3	4	2													護岸工事に伴い、四阿屋遊泳場を開設していない影響もあり目標は達成していない。	
8	継続	親子で川の生き物調査隊	環境課	小学生とその保護者を対象とし、河川水質の指標となる水生生物を調査し、河川美化意識の啓発等を行います。	水質に関する理解を深める	鳥栖市環境保全協議会と共催	市報、ホームページ、窓口内に案内設置、小学生に案内配布	毎年度実施する	実施	18組	実施	18組	実施	20組	実施	実施	3	4															豊かな自然環境と触れ合い、水質と水生生物との関係を学ぶことで、河川美化意識の啓発を図った。令和6年度からは事業の中で、中流域や下流域の水質や水生生物の違いも紹介した。
9	継続	公園・緑地施設の整備点検	都市整備課(旧都市計画課)	公園緑地の安心安全のため施設の整備・点検を行います。				各公園の安全確認と保守点検巡回の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3																毎月実施している各公園の点検巡回に加え、点検技術者資格の有資格者の道具定期点検を行い、安全性の確保に努めることができた。
10	継続	浄水場見学会	水道課(旧事業課)	浄水場見学会を行い、水道水の製造工程や水資源の有限性等を説明し、節水を啓発します。	水道水の製造工程を学んでもらう		市報、ホームページ、報道機関への情報提供	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	1																新型コロナウイルス感染症分譲移行の翌年度でもあり、多くの小学校等が来場した。
11	継続	水道週間	管理課	毎年6月上旬の「水道週間」にあわせ、小・中学校やまちづくり推進センターなどに水道週間ポスター・水道壁新聞を送付します。	水質保全や水の大切さを伝える			毎年度実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	1																水の大切さを知ってもらい、水質の保全や節水につなげていきたいので、今後も続けていく。
12	継続	環境保全協定	環境課	事業者と環境保全協定を締結し、環境保全や公害防止等を推進します。				事業所等から要望がある都度、締結する	事業所等から要望がある都度、締結する	実施(3社)	事業所等から要望がある都度、締結する	実施(1社)	事業所等から要望がある都度、締結する	実施(0社)	事業所等から要望がある都度、締結する	事業所等から要望がある都度、締結する	2		1	2	1												環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
15	継続	浄化槽設置への補助金交付	下水道課(旧事業課)	公共下水道事業認可区域や、農業集落排水整備区域を除く地域の方が浄化槽を設置された場合に、補助金を交付します。				実施	実施	未実施	実施	実施(1件)	実施	実施(1件)	実施	実施	2																公共下水道認可区域を除く地域の方より浄化槽設置補助申請があり補助金を交付した。
17	継続	水質の環境調査・監視	環境課	河川や地下水等の水質環境調査を定期的に実施し、水環境の監視を行います。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3																鳥栖市内工場排水、河川水、井戸水の水質汚濁測定を行ったが、概ね基準値以下であった。
18	継続	河川の清掃美化活動	環境課	市民や事業者に参加を呼びかけ、清掃美化活動を行います。	河川に対する美化意識を育む	鳥栖市環境保全協議会と共催	市報、ホームページ	毎年度実施する	実施	296人	実施	172人	実施	120人	実施	実施	4																サガン鳥栖ホームゲーム試合開始前のLTO(リードトゥーザオーシャン)ごみ拾いとして実施。参加者の環境美化意識の向上、ならに市民等への美化意識の啓発を図った。
19	継続	景観保全先進事例研究	都市整備課(旧都市計画課)	景観保全の方針づくりのために先進事例を調査します。		関係団体との意見交換		毎年度実施する	実施	未実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施	1																景観法行政セミナー(国・佐賀県共催)には、遠方での開催であったため参加できなかったが、景観保全について佐賀県と協議を行った。
20	継続	長崎街道まつり	商工観光課(旧商工振興課)	長崎街道まつりの開催に協力し、市民が歴史・文化と触れ合う機会を創出します。	歴史を感じ景観に対する美化意識を育む	長崎街道まつり実行委員会に参加	市報、ホームページ、全戸回覧、窓口チラシ設置	来場者数を5,000人以上にする	5,000人	2,000人	5,000人	2,000人	5,000人	2,000人	5,000人	5,000人	2																目標の数値には到達をしていないが、訪れる方の賑わいは感じる。
22	継続	まちなみの修景	都市整備課(旧都市計画課)	朝日山自然林の展望の確保や、駅前・本通筋商店街等に花植えを設置する等、身近な修景場所を演出します。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施													○	○			観光地の魅力として、朝日山からの展望確保は必要である。また、市民に花やみどりによる癒しをもたらしているため、今後も継続して行っていきたい。

No	状況	事業名	担当課	事業内容	取組みで重視する視点				事業の実施計画・実績								取組の柱								温暖化対策の柱						事業評価(令和6年度)
					子ども	協働	情報	R8年度 までの目標	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7実績	R8計画	R8実績	①緑・ 生物	②水	③街 歩き	④住 環境	⑤温 暖化	⑥ご み減 量	⑦人・ 育	⑧取 組応 援	①ライ フス タイ ル	②省 エネ	③再 エネ	④脱 炭素 交 通	
23	継続	鳥栖のまちづくり と歴史・文化講座	生涯学習 課	座学と現地見学による講座を年間7回程度開 催し、鳥栖の歴史と文化遺産について学び、歴 史的な文化遺産の保存活用を進めます。		鳥栖のまちづくり と歴史・文化講座 実行委員会への 委託	市報・ホーム ページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施(参加 者180人)	実施	実施(参加 者180人)	実施	実施			2											「鳥栖の集落と交通」をテーマに全 7回の講座を開催した。継続的な受 講者に加え、新規の受講者もみら れる。	
24	継続	郷土資料講座	生涯学習 課	江戸時代の古文書を解読する講座を毎月2回 程度開催し、鳥栖の歴史・文化に触れる機会と します。		鳥栖郷土研究会 からの講師派遣	市報・ホーム ページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施(参加 者380人)	実施	実施(参加 者290人)	実施	実施			2											古文書講座を年間20回開催した。 継続的な参加者に加え、新規の参 加もみられる。	
25	継続	文化財常設展示	生涯学習 課	市が所蔵する文化財資料や発掘調査の成果 等々内容を替えながら年間を通して展示し、歴 史文化遺産の積極的な活用を進めます。			市報・ホーム ページ、報道機 関への情報提供	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			2											市立図書館にて常設展「勝尾城筑 紫氏遺跡」を開催し、R6(5/21)より 歴史文化交流展示室をサンメッセ 鳥栖内に開設して文化財の公開活 用に努めた。	
26	継続	ふるさと元氣塾	生涯学習 課	勝尾城筑紫氏遺跡等の文化財や自然環境を 活かしたまちづくりを進めるため、その担い手 となるボランティアガイドやアドバイザーを養成し ます。		ボランティア団体 へ委託	市報・ホーム ページ、広報、報 道機関への情報 提供、チラシ配布	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施(参加 者120人)	実施	実施(参加 者170人)	実施	実施			2											ボランティアガイド育成の実践とし て、勝尾城筑紫氏遺跡や弥生まつ り(史跡めぐり)のガイドを行い、鳥 栖の文化財の紹介・啓発に努め た。	
27	継続	勝尾城筑紫氏遺 跡保存整備	生涯学習 課	勝尾城筑紫氏遺跡の保存及び整備活用を、史 跡と自然環境が調和した形で進め、年2回史跡 見学会を開催します。また他の団体と共同して 史跡の保存活用と山林育成のイベントを開催し ます。		史跡の管理委 託、ボランティア 団体による案内、 実行委員会	市報、ホーム ページ、広報、報 道機関への情報 提供	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			2											年2回の見学会を実施した。また民 間団体と協働して史跡の保存活用 と山林育成のイベントを5回開催 した。また、史跡の適切な保存・管理 を行った。	
28	継続	道路の清掃美化 活動	環境課	市民や事業者に参加を呼びかけ、道路の清掃 美化活動を行います。	街なみに対する 美化意識を育む	鳥栖市環境保全 協議会と共催	市報、ホーム ページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			3											環境美化意識向上のため開催。今 後も意識啓発手法を検討しながら 開催について検討したい。	
29	継続	不法投棄防止バ トロール	環境課	不法投棄防止バトロール員による監視・バ トロール等を行いながら、不法投棄の早期発見 及び早期回収を行うことで、不法投棄をさせな い許さない雰囲気づくりを行います。		佐賀県産業物監 視員と同行		毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			3											不法投棄防止バトロール員等によ る監視や不法投棄防止看板の配 布を行いながら啓発を行った。	
30	継続	ボランティアごみ 袋の配布	環境課	ボランティアでごみ拾いをしていただている団体 等に対し、ボランティア用のごみ袋を配布しま す。		ボランティア団体 等への配布		毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			3											地域における清掃活動の活発化に 伴い、ボランティア用ごみ袋の配布 枚数は想定以上増加。地域の美化 に貢献する事業であるため、今後 も続けていきたい。	
31	継続	環境月間での清 掃活動の呼びか け	環境課	6月の環境月間にあわせ、事業者等に周辺の 清掃活動を呼びかけます。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			3											市内事業所から、環境月間におけ る清掃活動の実績報告をいただい た。期間中の活動に取り組んでい ただけているため、今後も継続して 実施する。	
32	継続	道路里親制度	維持管理 課	市民が市道の里親となり、ボランティアで清掃 等を行う道路里親制度への登録を呼びかけま す。	街なみに対する 美化意識を育む	アダプト制度	市報、ホーム ページ	20団体	18団体	18団体	18団体	18団体	19団体	19団体	20団体	20団体			3											令和6年度に令和8年度計画まで の目標団体数を達成。今後さらなる 団体数の増加、推進のため、目 標団体数を20団体に上方修正す る。	
33	継続	主要幹線道路の 整備促進	国道・交通 政策課(旧 国道・交通 対策課)	主要幹線道路(国道3号、国道34号、その他主 要県道の整備促進を、国や県へ働きかけ交通 渋滞の緩和等の交通環境を改善し、大気汚染 等の環境改善を推進します。		地元期成会に参 加		継続的な国・県 等への要望活動 を実施	国・県等へ の要望活動 を実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			1											毎年実施することにより、交通渋 滞の緩和等の交通環境を改善を目 指している。交通環境の改善は、大 気汚染等の環境改善に寄与するた め、今後も継続していく。	
34	継続	大気環境調査 ・監視	環境課	大気質等の環境調査を定期的に実施し、大気 環境の監視を行います。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施														鳥栖市役所屋上で測定を行い、概 ね基準値以下であった。	
35	継続	騒音環境調査 ・監視	環境課	市内の沿道において騒音・振動・交通量等の 環境調査を実施し、騒音環境の監視を行いま す。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			2											市内7箇所10.7kmで自動車騒音の 環境調査を行った。	
36	廃止	電気自動車「ピ ートス」のPR	環境課(旧 環境対策 課)	各種イベントの公用車として電気自動車「ピ ートス」を利用することで、電気自動車のPRを 行います。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	R5.9.14使 用中止 R5.9.20「 コースア ップ」							3								○				
37	継続	とっちゃんのエ コライフのスマ エ	環境課	市報やホームページの「とっちゃんのエコラ イフのススメ」のコーナーで、エコな取組(エ コカー、エコドライブ等)を紹介しています。		市報・ホーム ページ、窓口に 掲示	市報、ホーム ページに毎月掲 載する	市報、ホーム ページに掲載す る	12回掲載	市報、ホーム ページに掲載す る	12回掲載	市報、ホーム ページに掲載す る	実施(12 回)	市報、ホーム ページに掲載す る	市報、ホーム ページに掲載す る	市報、ホーム ページに掲載す る			3	3				○						身近な生活の中で、できるエコな取 組例を市報各号で紹介。エコな取 組(エコカー、エコドライブ等)への 行動を呼びかけた。	
38	継続	福祉乗車券助成 事業	高齢障害 福祉課	75歳以上と70歳以上の免許返還者及び免許 証失効者に対して、市内全ての路線バスとミニ バスの運賃を一部助成し、高齢者の外出支援 及び社会参加を促進します。		市報・ホーム ページ、バス内に 掲示	市報、ホーム ページに毎月掲 載する	市報、ホーム ページに掲載す る	12回掲載	市報、ホーム ページに掲載す る	12回掲載	市報、ホーム ページに掲載す る	実施(12 回)	市報、ホーム ページに掲載す る	市報、ホーム ページに掲載す る	市報、ホーム ページに掲載す る			4	4				○						コロナ禍以前と比べると乗車人数 は少ない状況が続いているが、 令和3年度以降増加しつつあり、 令和6年度は目標を達成した。	
39	廃止	道路新設改良	建設課	改修する際は、歩行者や自転車の歩行・走行 環境に配慮した道路整備を進めます。		市道森木・衛生 処理場線ほか1 路線の道路新設 改良事業進捗率 (100%)		75%	72%	80%	100%	93%	R5達成	100%	R5達 成	100%	R5達 成		4												
40	継続	路線バスの利用 促進	国道・交通 政策課(旧 国道・交通 対策課)	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩 和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等 の公害防止策に寄与します。		市報、ホーム ページ、広報紙	利用者数を年間 13.1万人以上に する	12.1万人	8.7万人	12.3万人	9.4万人	12.6万人	9.8万人	12.8万人	13.1万人			4	4				○		○					路線バス利用を促進することで、交 通渋滞の緩和等、交通環境を改善 し、大気汚染や騒音等の公害防止 に一定の成果があり、今後も継続 が必要と考える。	
41	継続	鳥栖市地球温暖 化対策実行計画 区域施策編の運 用	環境課	鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編 を運用します。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			1											環境レポートを作成し、ホームペ ージで公表した。	

No	状況	事業名	担当課	事業内容	取組みで重視する視点				事業の実施計画・実績								取組の柱				温暖化対策の柱				事業評価(令和6年度)								
					子ども	協働	情報	R6年度 までの目標	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7 実績	R8計画	R8 実績	① 緑・生物	② 水	③ 街並み	④ 住環境	⑤ 温暖化	⑥ ごみ減量		⑦ 人・育	⑧ 取組応援	⑨ ライフスタイル	⑩ 省エネ	⑪ 再エネ	⑫ 脱炭素交通	⑬ ごみ対策	⑭ 省エネ
42	継続	環境マネジメントシステムについての広報	環境課	事業者向けに関連情報の提供を行うとともに、ゼロカーボン推進パートナー制度やごみ減量等について周知広報します。			市報、ホームページ、企業へ案内郵送	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				2													HPIによる関連情報の提供ならびに、ゼロカーボン推進パートナー制度等の広報周知により件数増加に向けた取組を行った。
43	継続	ミニバスの利用促進	国道・交通政策課(旧国道・交通対策課)	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。			市報、ホームページ、広報紙	利用者数を年間19.8千人以上にする	18.1千人	14.7千人	18.5千人	15.3千人	19.1千人	14.8千人	19.5千人	19.8千人				4													ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
44	継続	とつとちゃんのごみ減量速報！！	環境課	ごみの排出量抑制と資源物回収の徹底を図るため、1人当たりごみ排出量と資源物の回収量を市報等で広報します。			市報、ホームページ	市報、ホームページに毎月掲載する	市報、ホームページに掲載する	実施(12回)	市報、ホームページに掲載する	実施(12回)	市報、ホームページに掲載する	実施(12回)	市報、ホームページに掲載する	市報、ホームページに掲載する				1													1人当たりごみ排出量と資源物の回収量を前年と比較し、市報各号で紹介し、排出量抑制と資源物回収の徹底を呼びかけた。
45	継続	生ごみ処理機購入補助	環境課	生ごみ処理機の購入費の一部を補助します。			市報、ホームページ	毎年度実施する	実施	実施(24件)	実施	実施(27件)	実施	実施(24件)	実施	実施				1													ごみ減量及び循環型社会の推進に効果が期待される。今後も事業を継続していきたい。令和6年度よりインスターネット購入も補助対象としたため、希望者が利用しやすくなり、年度途中で受付を停止した。
46	継続	広域ごみ処理連絡会議	環境課	鳥栖市、上峰町、みやき町の1市2町で定例会議を開き、資源物の分別等の基本施策の推進方法、ごみ発生抑制のための施策の検討等を協議します。		上峰町、みやき町と情報交換		毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				1.3													ごみ減量の意識向上について一定の成果があったと考えており、今後も事業を継続していく。
47	継続	市民活動団体が行うイベントへの後援	環境課	フリーマーケット、環境講演会等、市民活動団体が開催する各種イベントを後援します。		市民活動団体への後援		毎年度申請受付を実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				1	1												市民活動団体主催のフリーマーケットやフードドライブの後援を行った。今後も継続して実施する。
48	継続	エコ・ショップまたはエコ・オフィスの指定	環境課	環境保全の取組に關し、指定要件を満たしている市内の店舗・事業者を、エコ・ショップまたはエコ・オフィスとして指定します。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施・見直し	実施	実施				1	2												ごみ減量、リサイクル等の環境保全に積極的に取り組む企業を市が認定しており、PRすることにより取組を応援した。
49	継続	マイバック・ノーレジ袋の推進	環境課	マイバックの利用推進やレジ袋利用の削減のため、小売業者等に普及啓発を行います。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				1													県も主導して行っている施策であり、市として、ホームページや市民・事業者に対して広報周知を行っています。
50	継続	ごみ分別アプリの啓発	環境課	市民が、ごみの分別をスマートフォン等の情報機器を使って、手軽に調べることが出来るように啓発する。			ホームページ、ごみカレンダー	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				1													アプリのメンテナンスは随時行っているが、市民の認知度が低く、更新の普及・啓発に力を入れる必要がある。
51	継続	コンテナ収集・美化活動推進奨励金	環境課	各町区で実施する資源物コンテナ収集や、美化活動に対して奨励金を交付します。		町区へ奨励金交付		毎年度実施する	実施	実施(26,860世帯)	実施	実施(27,410世帯)	実施	実施	実施	実施				2													今後とも、地区における資源物の回収強化を図り、リサイクル化を進めていきたい。
52	継続	資源回収推進奨励金	環境課	市民団体が実施する資源回収活動に対して奨励金を交付します。		市民団体への奨励金交付		毎年度実施する	実施	実施(80団体)	実施	実施(76団体)	実施	実施(74団体)	実施	実施				2													事業の実施により、資源物がリサイクルされ、循環型社会の推進に寄与している。今後も継続したい。
53	継続	出前講座の受付	市民協働課(市民協働推進課)	環境に関する出前講座の依頼があった際は、職員を派遣し充実した講座を行います。			ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施(参加者440名)	実施	実施(参加者377名)	実施	実施				1													環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
54	継続	地区組織(食生活改善)活動	健康増進課	小学校やまちづくり推進センターなどで、食糧資源を大切に、様々な体験活動を通して食育に関する意識・知識を普及します。		食生活改善推進協議会に委託		毎年度実施する	夏休み健康料理教室8回 春、秋地区伝達16回 参加者178人	夏休み健康料理教室(中止) 春、秋地区伝達16回 参加者178人	夏休み健康料理教室8回 春、秋地区伝達16回 参加者171人	夏休み健康料理教室7回 参加者107人	夏休み健康料理教室8回 春、秋地区伝達14回 参加者140人	夏休み健康料理教室6回 参加者106人	夏休み健康料理教室8回 春、秋地区伝達16回 参加者201人	夏休み健康料理教室8回 春、秋地区伝達16回				1													夏休み健康料理教室は希望されない小学校があり6回開催となった。
55	継続	ヘルスメイト養成講座での環境教育	健康増進課	主に健康をテーマとするヘルスメイト養成講座の中で、リサイクル推進等についての環境教育を行います。			市報	隔年で実施する			実施	5回(参加者26人)		隔年実施のためR6は未実施	実施				1														該当なし
56	継続	環境問題講座の開催	市民協働課(市民協働推進課)	まちづくり推進センター主催事業として、環境問題をテーマとする講座を開催します。		環境に対する理解を深める	市報、まちづくり推進センター広報誌	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				1													環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
57	継続	子どもを対象とした環境問題教室の開催	市民協働課(市民協働推進課)	放課後子ども教室の一部で、環境問題をテーマとする教室を開催します。		環境に対する理解を深める	市報、まちづくり推進センター広報誌	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				1													子どもたちが自然に触れることで、環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
58	継続	自然学習の体験活動	生涯学習課	市村自然塾九州の協力を得て、子どもたちを対象にものづくりの楽しさや豊かな自然を体験する宿泊自然体験学習を実施します。		ものづくりの楽しさや自然を守る意識を育む	市村自然塾九州と共催	毎年度実施する	実施	中止	実施	中止	実施	実施(18名)	実施	実施				1													市内の小学生を対象に一泊二日の自然体験を実施した。
59	継続	ゼロカーボン講座(地球温暖化対策)	環境課	市内の全小中学校において、ゼロカーボン(地球温暖化対策)に係る講座を行います。			報道機関への情報提供	毎年度実施する	実施	実施(4校)	実施	実施(2校)	実施	実施(4校)	実施	実施				2													地球温暖化という言葉は聞いたことはあるが、ゼロカーボンと言う言葉は初めて聞く児童も多かった。今後も講座を継続していきたい。
60	継続	職場体験学習の受入れ	環境課	中学校等から、資源物回収等の職場体験学習を受け入れます。		環境保全の意識を育む		毎年度実施する	実施	依頼なし	実施	依頼なし	実施	依頼なし	実施	実施				2													今後とも学校からの依頼があれば受け入れをしていきたい。
61	継続	ポスターコンクール	環境課	小学生、中学生を対象に環境保全と3R促進に関するポスターを募集します。		環境保全の意識を育む	鳥栖市環境保全協議会と共催	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				2													児童生徒が環境保全に関心を持つきっかけになることから、今後も事業を継続していきたい。

No	状況	事業名	担当課	事業内容	取組みで重視する視点				事業の実施計画・実績								取組の柱						温暖化対策の柱						事業評価(令和6年度)				
					子ども	協働	情報	R8年度 までの目標	R4計画	R4実績	R5計画	R5実績	R6計画	R6実績	R7計画	R7 実績	R8計画	R8 実績	① 緑・生物	② 水	③ 街並み	④ 住環境	⑤ 温暖化	⑥ ごみ減量	⑦ 人・育	⑧ 取組応援	⑨ ライフスタイル	⑩ 省エネ		⑪ 再エネ	⑫ 脱炭素交通	⑬ ごみ対策	
62	継続	自然に感動する心を育む教育	学校教育課	総合的な学習、特別活動、学校行事等で行われている自然体験活動、環境に関わる奉仕活動を、継続して取り組むよう各学校を指導します。	体験を通じて自然に感動する心を育む			毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施							2									小学校8校が、波戸岬、北山、青嶺、夜須高原の少年自然の家で宿泊訓練を実施し、フィールドワーク等の自然体験活動を行った。2校で田植えと稲刈りの体験を、1校で茶摘みと体験を行った。3校で校区内のごみ拾い、清掃活動を行った。	
63	継続	環境教育に関わる情報の提供	学校教育課	環境教育に関わる情報を収集し、各教科の環境学習に役立ててもらえるよう、各学校に提供します。	環境に関心をもちてもらおう			毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施							2									○	小学校6校が東部クリーンエコランドを見学し、1校がリサイクルプラザを、1校が北九州のエコタウンセンターを見学した。佐賀県環境センターの出前講座を2校が、鳥栖市環境対策課の出前講座を1校が、久光製薬、九州電力等の企業の環境出前講座を3校が受講した。
64	継続	環境レポートの作成	環境課	環境レポートを作成します。				毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						3										環境レポートを作成し、ホームページで公表した。
65	継続	まちづくり推進センターにおける環境教育の場の提供	市民協働課(市民協働推進課)	環境教育をはじめとする生涯学習の場として、まちづくり推進センターの活用を進めます。			市報、まちづくり推進センター広報誌	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						4								○	○	多くの方々が利用するまちづくり推進センターにおいて、環境をテーマにした講座や教室を実施することで、地域における環境教育の拠点としての機能を担う事ができた。
66	継続	図書館視聴覚室における環境教育の場の提供	生涯学習課	環境関連をはじめとする講演会の場として、視聴覚室の活用を進めます。	廃材などを利用した工作教室		ホームページ	毎年度実施する	実施	中止	実施	未実施	実施	実施(21名)	実施	実施							4										コロナ禍以降未実施。今後は内容も含め再検討。令和6年度は九千部クラブに木や竹の工作を通じた森林を知ってもらう学習予定あり。
67	継続	市民活動登録団体ガイドブックの作成	市民協働課(市民協働推進課)	市内を中心に活動するNPOやボランティア団体の情報をまとめたガイドブックを作成します。			ホームページ、窓口及び必ず市民活動センターで配布	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						1									○	令和2年10月から鳥栖市市民活動団体登録制度を創設し、市民活動登録団体ガイドブックの作成を行った。今後も登録団体の市民活動の情報提供を行う。
68	継続	市民活動支援補助金	市民協働課(市民協働推進課)	市民活動団体が自主的かつ主体的に行う公益的な事業に要する経費の一部を補助します。また、事業に対する助言・協力も行います。	市民活動団体に補助		市報、ホームページ、窓口及び必ず市民活動センターで周知	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						1									○	市民活動団体の立ち上がりにおける基盤強化、事業の活性化、協働化を支援するものであり、今後も事業内容を見直しながら継続していくことが必要。
69	継続	とす市民活動センターの運営	市民協働課(市民協働推進課)	市民相互及び市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動への参加啓発、市民活動団体育成・支援等、様々な市民活動情報発信基地としての機能充実を図ります。			市報、ホームページ、全戸回覧	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						1									○	広報誌等での市民活動の情報発信、各種事業での市民活動への啓発や団体の育成のための研修会、相談会等を実施し、様々な市民活動情報発信基地として機能している。今後も支援していくことが重要。
70	継続	鳥栖市環境保全協議会への補助金交付	環境課	生活環境の保全や資源循環型社会の形成を目的とした啓発活動等を行う鳥栖市環境保全協議会に対し、補助金を交付します。		鳥栖市環境保全協議会へ補助		毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						3										市と環境保全協議会共催の環境保全の事業は、市民の環境保全の取組意識を高めるきつかけとなっているため、今後も継続して実施する。
71	継続	道路新設改良	建設課	改修する際は、歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めます。			田代大官町堂方線ほか1路線の道路新設改良事業進捗率：91%		70%	70%	86%	86%	91%	91%	98%		100%						4										今後も歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めるために事業進捗に努めます。
72	継続	道路新設改良	建設課	改修する際は、歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めます。			国土交通省・今町線の道路新設改良事業進捗率：0%				0%	0%	0%	0%	0%								4										今後も歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めるために事業進捗に努めます。
73	継続	公的看板の老朽化点検	都市整備課(旧都市計画課)	市内の景観保全のため、公共施設に設置されている看板の調査を行い点検を呼びかけます。				毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		1														改修を行った看板の点検を行うことで、景観保全に努めることができた。
74	新規	食ロス対策	環境課	まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」を減らすための行動や取組について広報・啓発を行います。	関連事業者と連携	市報、ホームページ	毎年度実施する	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施						1	3								○	スポーツチームと連携した「てまえどリ」啓発ポスターを作成。市内食品小売店での掲示。また、市内店舗と各チームのホームゲーム前に啓発として、取組を実施。
75	新規	ゼロカーボン推進パートナー制度	環境課	ゼロカーボンにつながる取組を行う事業者を市が認定。事業者の効果的な取組を情報発信する。また、認定事業者がゼロカーボン推進に繋がる情報提供等を行う。	市認定事業者	市報、ホームページ	毎年度実施する							実施(18社)	実施	実施	実施						2				○	○	○				18社認定。ホームページ等を使用して、ゼロカーボン推進に取り組む事業者の情報発信した。ゼロカーボンセミナー等も実施した。
76	新規	省エネ体験教室	環境課	エネルギー(電気)の大切さを知ってもらうとともに、LED電球等による省エネルギーの効果を知り、環境意識を高める。	エネルギーの大切さを知る	連携協定企業(パナソニック株式会社エレクトリックワークス社)	ホームページ等	毎年度実施する						実施	実施	実施	実施	実施					3		3		○	○					自身で発電をして模型電車を走らせる「ソーラーレイン体験」及び、電気に関する学習とLEDランタンづくりを通して、エネルギーの大切さを学んだ。
77	新規	森のタンブラー	商工観光課(旧商工振興課)	使い捨てしない飲料容器として「森のタンブラー」を作成。使い捨てという消費行動自体を変換することを目標とし、資源の大切さを感じてもらおう。	資源の大切さを知る	連携協定企業(アサヒグループ)		7年度実施予定 8年度未定						実施	実施	実施	実施	実施												○		市内スポーツチームのホームゲームの際、リユースできるエコカップの森のタンブラーを販売。資源の大切さを感じてもらおう。	